

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.6.29)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロディニウム ホリクイコイテス
1.長田沖 アクアファーム	9:01	0	23.5	33.26	7.6	0	0	0	0
		8	20.4	33.92	7.7	0	360	0	0
2.塩内~片白島	9:30	0	22.9	31.76	9.4	0	3	0	0
		5.5	20.3	33.92	8.3	0	1,010	0	0
3.小田代	10:02	0	21.5	33.93	8.9	0	6,100	0	0
		1	21.5	33.90	9.1	0	3,700	0	0
4.沖松浦漁港	10:20	0	21.2	33.86	9.9	0	3,100	0	0
		2	20.5	33.99	6.8	0	3,000	0	0
		5	20.4	34.02	5.4	0	1,300	0	0
		9	20.3	34.03	5.4	0	280	0	0
5.鶴見振興局裏	10:24	0	20.8	33.92	9.1	0	8,500	0	0
		4.5	20.3	33.98	6.4	0	2,100	0	0
6.JF鶴見ポンツーン前	10:27	0	21.3	33.80	8.0	0	3,400	0	0
		3	20.4	33.91	8.2	0	4,000	0	0
7.石間	10:46	0	22.3	32.72	8.9	0	360	0	0
		2	20.7	33.81	10.1	0	7,100	0	0
8.守後	11:07	0	22.8	33.16	9.0	0	600	0	0
		2	21.5	33.55	10.5	0	6,300	0	0
9.霞ヶ浦	11:00	0	25.9	32.31	8.9	0	97	75	0
		4	20.9	33.82	10.4	0	750	0	0
10.片神	11:19	0	23.1	33.10	9.4	0	228	0	0
		4.5	20.6	33.84	11.7	0	240	0	0
11.水産試験場前	11:39	0	24.7	33.17	7.3	0	2	0	0
		7.5	20.4	33.94	8.1	0	226	0	0
12.片白島養殖場	9:38	0	22.6	31.76	8.7	0	14	0	0
		3	20.6	33.82	9.2	0	1,160	0	0

参考: マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
コクロディニウム・ホリクイコイテス	3以上	30以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。  
 \* 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイおよびヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

カレニア・ミキモイは、佐伯湾全域で細胞密度が高く、警戒密度を超える状況です。

また、午前中に細胞密度が少なくても、午後から表層に集積し、高密度化する傾向が見られます。

魚介類の管理にはくれぐれも気をつけてください。

